



1

2

3

4



- 1.花桃まつりの様子。大正23年、福沢諭吉の娘婿にあたる実業家、福沢桃介が大桑村の須原発電所内に3本植えた。その後、村民によって増やされ、現在は約1万本を数える
- 2.昼神温泉郷。泉質はアルカリ性単純硫酸黄泉。古い角質をとり、滑らかな肌にする効能があるとされ、「美人の湯」と称される
- 3.ポラーピラーは村内の中学校と小学校のほか、ヘブンスのほらにも設置されている
- 4.排気量50cc、90cc、125ccの原動機付自転車、小型自動二輪車に付けられる「星のナンバープレート」

## 温泉から始まった 阿智村の観光産業

金剛石や草の露やあらゆる立派さをあつめたやうな――。

「銀河鉄道の夜」の一文である。北十字から南十字へ、天の川に沿って走る銀河鉄道。その車窓から見える星々を、宮沢賢治はそう表現した。同作品には、ほかに星々の美しさを表した描写が見られる。賢治が生きていたのは、第二次世界大戦前の岩手県。現代ほど明かりに満ちてはいなかったはずだ。きつと賢治は満天の夜空を眺めながら、幻想的な世界を想像していったのだろう。

阿智村の星空は、そんな文学史に残る名作を思い起こさせてくれる。ダイヤモンドのような星が無数にきらめき、薄絹をかぶせたような天の川の帯がうつすらと伸びる。それが見渡す限り広がり、まるで星空に吸い込まれてしまうような気さえた。観光客は明かりが多い市街地と比べ、これほどまでに星が多く、近く見えるのかと驚くだろう。熊谷秀樹村長は「昔から、星がすてききれいといわれてきました。でも、私たちにとっては当たり前前の光景で、ここまで多くの人を引きつける魅力になるとは思っていなかったんです」と振り返った。

もともと、阿智村は養蚕が盛んな地域だった。観光産業が発達した契機は、昭和48年。旧国鉄中津川線のボーリング調査中に温泉が湧き出したのに端を発する。湧出した昼神温泉には中央自動車道の開通も相まって、多くの観光客が詰めかけた。ス

「フリモAR」を起動して  
スマホをかざすと阿智村の  
星空とメッセージが流れます



# 「巻頭特集」新たな地域の魅力を探し出し、育む 阿智村が得た宝物

「日本一の星空」をキーワードに、  
全国から注目を浴びる阿智村。  
天体観測にエンターテインメント要素を加えた  
「天空の楽園 日本一の星空ツアー」はもちろん、  
約1万本が咲き乱れる「花桃まつり」、  
阿智川の清流を挟み20の宿が佇む昼神温泉郷など、  
多くの魅力を持っている。  
人口7千人弱の小さな村が、  
多くの人を引きつけるまでになった  
経緯と努力を、熊谷秀樹村長に尋ねた。



熊谷秀樹 村長  
住民目線での村政を大切に。「意外に知られていない阿智村の魅力は標高差。場所を変えて、1カ月間桜が咲き続けるなど、小さな村内で多彩な景色に出会えます」と教えてくれた

キー場やゴルフ場といった娯楽施設のほか、観光客を楽しませようと地域の住民も協力して毎年花桃を植え続けている。「地域の人のおかげで、いま花桃は約1万本まで増えました。すっかり阿智村の魅力のひとつとして定着しています」と熊谷村長は笑顔を見せる。

さらに、平成18年に行われた環境省主催の「全国星空継続観察」で、阿智村は星空という新たな観光資源を手にする。同年度夏期の「一般参加団体による写真撮影結果において夜空の明るさが星の観測に適していた場所」において、浪合地区もみじ平天文村で撮影された写真が全国1位に輝いたのだ。

## 行政から民間に委託し 自由な発想で観光振興

全国1位に選ばれた直後から、星を生かした観光振興に向けて動き出す。最初は、どのようにしていけばいいかわからず、すべて手探りだった。民間の人々を中心となり、6年前からゴンドラで山上に行き星空を眺めてもらおう企画を実施したが、最初の利用者はたった3人しかいなかったと熊谷村長は話す。

しかし、阿智村の星空の魅力はすぐに広まり、初年度は約5千人、翌年は約1万人と利用者数が増加。2年前からは観光振興を民間の第3セクター「阿智☆昼神観光局」に委託し、自由な発想で集客を図っている。そうして実施されているのが、スタービレッジ阿智の「天空の楽園 日本一の星空ナイトツアー」。プロジェクションマッピングを駆使した演出や、ダンス・音楽を取り入れ、天体観測の初心者でも楽しめる内容が用意されている。

「一般の人でも楽しめるようにするというのが、初期からのテーマでした。その方針は第3セクターに託した現在も変わっていません。おかげさまで昨年は15万人が訪れてくれました」

## どこにでも必ずある 地域を発展させる宝物

阿智村の星空が生かされているのは、観光振興に限らない。「子どもたちが星空や宇宙について関心を持つきっかけとなるとともに、美しい星空と阿智村の素晴らしい自然環境を守り後世に伝えてほしい」という思いから、村内の中学校と5つの小学校にモニメント「ポラーピラー」を設置している。上面は北極星の見つけ方を図解した指針盤。前面には穴が空いており、覗き込むと北極星が見られる。また、星を生かした授業などにも取り組まれており、何気なく眺めていた夜空の価値を改めて伝えていく。

「進学や就職のため、村を離れる子どもが少なからずいるでしょう。しかし、村を出てから阿智村についていこうと気づいてくれる人が、きつといつか戻ってきてくれる」と熊谷村長。「阿智家族」と題し、いつでも帰ってこられるあたたかさを村全体で生み出している。そうした雰囲気にも、魅力を感じたのだろう。「星に関わる仕事がしたい」と移住を決めた人を皮切りに、他の地域からの移住者も増えている。星空をはじめとした、地域の人々が見出し、育んできた阿智村の魅力が、観光面だけでなく地域全体の振興につながっているのだ。

「田舎を何もない地域という人がいます。ですが、気づかないだけで、どの地域にも宝物は必ずあるんです。私たちはこれからも、阿智村の宝物を探していきますよ」。今後、リニア中央新幹線が開通するとうる明るい話題もある。より多くの人に魅力を知ってもらうために、阿智村の人々は地域をあげて、村の宝物を追い求めていく。

information

月川温泉郷 花桃の里  
**花桃まつり**

■期間/4月下旬～5月初旬  
■問い合わせ/0265-43-3001 (阿智☆昼神観光局)  
<http://hirugamionsen.jp/activity/hanamomo>

フリモAR  
アプリを  
ダウンロード

App Store  
からダウンロード

Google Play  
で手に入れよう

で「フリモAR」を検索

※AppleおよびAppleロゴは米国その他で登録されたApple Inc. の商標です。  
App Store™はApp Inc. のサービスマークです  
※Google Play および Google Play ロゴは Google Inc. の商標です